

平成 18 年 10 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社アルバック
 代表者名 代表取締役社長 諏訪 秀 則
 (コード番号:6728 東証一部)
 問 合 せ 先 専務取締役経営企画室長 常見 佳 弘
 (TEL. 0467-89-2033 大代表)

八戸事業所増設に関するお知らせ

当社、アルバック東北^(株)¹⁾(連結子会社)及びアルバックマテリアル^(株)²⁾(連結子会社)は、現在の八戸事業所(青森県八戸市北インター工業団地 6-1-16)の隣接地に新たな土地を購入し、生産工場、生産設備の増強を行うことにいたしましたのでお知らせいたします。なお、土地取得及び工場建設に際しましては、青森県及び八戸市の優遇制度を活用いたしました。

記

1. 工場増設の理由

八戸事業所では現在、アルバック東北^(株)、アルバックマテリアル^(株)、アルバックテクノ^(株)³⁾(連結子会社)が積極的に事業展開をしております。アルバック東北^(株)は、フラットパネルディスプレイ(FPD)製造装置や一般産業向け真空装置を生産するだけでなく、加工センターにおいて真空装置部品の加工を行い、内製化を積極的に推進しております。また、アルバックマテリアル^(株)は、液晶ディスプレイを始めとする FPD 用スパッタリングターゲット⁴⁾の生産を行っております。

近年、大画面(液晶、プラズマ)テレビの需要が活発化したことで、製造装置やターゲットのサイズの大型化が急速に進んでおります。また、ポスト FPD⁵⁾対応として、一般産業向け真空炉などの引合い・受注が活発化し、既設設備では対応ができなくなってまいりました。

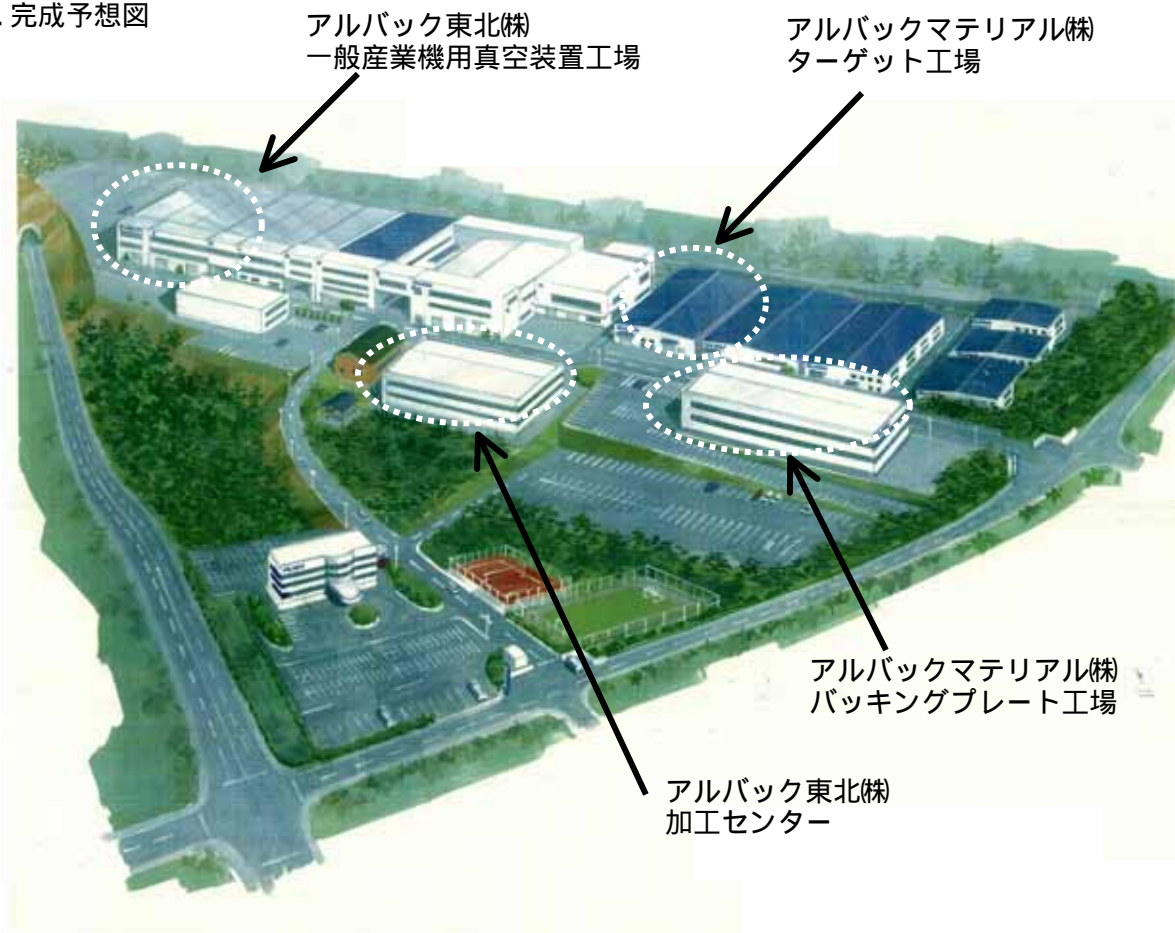
そのような状況に対応するため、同事業所内の組立工場、加工センター及びスパッタリングターゲットなどの生産工場、生産設備を増強するとともに、内製化比率を高め生産技術の向上とコストダウンを行うことで、事業拡大をめざしてまいります。

2. 増設の概要(予定)

	延床面積	着 工	竣 工
アルバック東北 ^(株)			
(1)一般産業向け真空装置組立工場増設 真空炉等の一般産業用真空装置生産工場	2,076 m ²	平成 18 年 9 月	平成 18 年 11 月
(2)加工センター増設 FPD 装置大型化対応の大型工作機械工場	2,400 m ²	平成 19 年 1 月	平成 19 年 7 月
アルバックマテリアル ^(株)			
(1)ターゲット工場増設 FPD 用大型スパッタリングターゲット生産工場	3,232 m ²	平成 18 年 9 月	平成 18 年 12 月
(2)バックングプレート工場増設 FPD 用スパッタリングターゲット用バックングプレート ⁶⁾ 生産工場	2,573 m ²	平成 19 年 1 月	平成 19 年 6 月
計	10,280 m ²		

3. 投資金額(予定) : 約 28 億円

4. 完成予想図



用語説明

- *1)アルバック東北(株)の事業内容: アルバックグループ製品の受託製造
- *2)アルバック材料(株)の事業内容: 電子工業用材料(スパッタリングターゲット材料)などの製造、販売
- *3)アルバックテクノ(株)の事業内容: アルバックグループ製品の販売、カスタマーサポート
- *4)スパッタリングターゲット: フラットパネルディスプレイ及び半導体製造装置などに使用する成膜材料
- *5)ポスト FPD: 当社は、フラットパネルディスプレイの次に成長する分野に積極的に展開する戦略を「ポスト FPD(4つの柱)戦略」と位置付けている。具体的には、デジタル家電用電子部品製造装置 エネルギー・環境関連装置 中国市場 カスタマーサポート事業と OEM 生産をいう。
- *6)バッキングプレート: 内部に冷却水路が設けられた放熱板で、FPD や半導体製造装置のスパッタリング装置に使用し、通常、ターゲット材料に接着(ボンディング)する。

以上